

論点1 効果的な業務運営体制の構築

新興感染症に対応する体制を速やかに整備するためのマネジメント機能の強化、受援体制の構築、急増する業務量を見据えた業務実施方法（委託化・一元化等）について

- ◆ 新たな感染症有事を見据え、都保健所の体制をいかに強化するか
- ◆ 新規業務に対する執行体制の整備、保健所業務の重点化及び縮小・休止した業務の再開、応援職員や外部人材の受入体制の構築、関係機関との情報共有など、感染症有事に増大するマネジメント機能をどのように強化するか
- ◆ 保健所で担うべきコア業務以外の業務を、必要時に速やかに保健所以外で実施できるよう、どのように仕組みを作っておくか
- ◆ 新たな感染症有事に備えて、新型コロナ対応で効果的であった業務のデジタル化をいかに進めていくか

上記論点を踏まえた検討の方向性

- ✓ 感染拡大時の業務量増を見据えた、保健所の組織人員体制や執務環境等の整備
- ✓ 有事の際に迅速に人員確保を行う方策
- ✓ 有事における所内の管理監督者の役割分担や各種マニュアル、訓練等、平時から準備すべき事項
- ✓ 感染拡大のフェーズに応じ、コア業務と一元化・委託化する業務を円滑に行うための事前準備
- ✓ 新型コロナ対応を踏まえた保健所業務のデジタル化の平時からの推進

論点2 専門人材（医師、保健師等）の確保・育成

検査、積極的疫学調査、健康観察、クラスター対応等、高い専門性を必要とする業務に対応するための専門人材（医師、保健師等）の確保・育成について

- ◆ 感染症有事の際に速やかな外部人材の確保や育成をどのように行うか。そのために平時からどのような仕組みを構築すべきか
- ◆ 感染症有事に迅速かつ的確に対応できるよう、保健師の専門性やマネジメント能力の向上をいかに図るべきか。また、事務職等の育成をいかに行うべきか

上記論点を踏まえた検討の方向性

- ✓ 保健所業務経験者等の登録制度やIHEATの活用方策
- ✓ 都内医科大学をはじめとした公衆衛生人材等との平時からの連携体制
- ✓ 保健師の人材育成方策の充実
- ✓ 事務職や監視職等、専門人材以外の職員の育成のあり方

論点3 地域ごとの連携・協力体制の構築

新興感染症発生時における都保健所・市町村・関係団体等との役割分担の明確化や協力体制の構築、有事における情報共有について

- ◆ 新型コロナ対応を踏まえ、都保健所や市町村、医師会をはじめとした関係団体、医療機関等で感染症有事における役割分担、協力体制の構築をどのように行うか。そのために平時からどのように連携すべきか
- ◆ 感染症有事において、市町村が住民への情報発信や普及啓発等を円滑に行うための情報提供や、各関係機関の取組状況等の情報共有体制をいかに構築すべきか

上記論点を踏まえた検討の方向性

- ✓ 都保健所と市町村との有事における役割分担に基づく平時からの連携体制の強化の方策
- ✓ 都保健所と医師会、医療機関等関係機関との有事における役割分担に基づく平時からの連携体制の強化の方策
- ✓ 関係機関の参画する定期的な連携会議のあり方
- ✓ 医療機関、福祉施設等に対する平時からの感染症対応力向上の支援
- ✓ 関係機関との情報共有や連絡調整を行う所内体制の整備
- ✓ 関係機関との効率的な情報共有等の仕組み